

今月のみことば 2024年11月

キリストは死を滅ぼし、福音を通して不滅の命を現してくださいました。

(テモテへの手紙第二1章10節、新共同訳)

すべての人の必修科目

筆者は、以前アルバイトで塾講師として働いた時期がありました。毎回の授業準備は大変だったのですが、それ以上に、成長していく生徒たちの様子を見られるのが楽しみでした。今でも塾を見かけると、その頃の記憶を懐かしく思い出します。

当時、生徒からよく聞かれる質問がありました。「先生！こんなこと絶対将来使わないのに、なんで勉強しないといけないんですか？」という質問です。この手の質問には、なかなか上手く対応できませんでした。むしろ、「私も学生時代、そう思ったことがあったなあ・・・」と、ちょっとだけ共感してしまう自分がいたのです。

きっと、良い返答の仕方があるのでしょう。それでも、「将来使わない内容は、あまり勉強する気が起きない」という思い自体は、誰もが一度は感じたことのある、正直な気持ちだと思います。

それでは、反対に、すべての人が「将来、必ず経験すること」とは何でしょうか。あまり考えたくないテーマですが、そのひとつは「死」だと思います。人生はいつか終わりを迎えます。そこに一人の例外もありません。身分が高くても低くても、お金があっても無くても、最後には生涯を終える時が来るのです。そう考えると、死の問題は、誰もが学ぶべき「すべての人の必修科目」と言えるかもしれません。やがて来る死に備えて、私たちは何をすることができるでしょうか。

世界のベストセラーである聖書の中には、その答えが書かれています。「キリストは死を滅ぼし、福音を通して不滅の命を現してくださいました」。イエス・キリストが「死」そのものを滅ぼし、なんと「滅びることのない命」を与えてくださる、と聖書は伝えています。死んだら終わり、ではありません。イエス・キリストを信じる人には、天国に生きる、新しい命が約束されているのです。

この約束は「福音を通して」現わされています。福音とは、「良い知らせ(グッドニュース)」という意味です。神様からあなたに、「死の解決」という渾身のグッドニュースが届けられているのです！

普段の生活の中で、「死」という悲しいテーマについて考えるのは、少し気が引けてしまうことだと思います。しかし、その「悲しみ」が「希望」に代わる可能性があるとするならば、ちょっとでも聖書を学んでみる価値はあるのではないのでしょうか。すべての人にとって、将来必ず使うことになる知識と、思わぬグッドニュースが見つかるかもしれません。(H)

